提 出 В R5.6.23 令和 5 年度 名 都市政策課 抇 第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1) グルー -プ名 都市政策グル-記入者名 (3)事業性格 (2)事業種別 (1)事業名 継続 政策事業 都市計画一般事務費 (新規・継続) (政策•一般) (4)第5次総振での位置づけ (5)予算・財源等の別 ①会計区分 ①基本目標 安全で住みよいまち〈都市基盤の充実〉 一般会計 県補助 ②大項目 市街地·集落 ②財源区分 コンパクトシティづくり 中心拠点づくり、地域生活拠点づくり ③中項目 ③予算科目 8 項 3 目 4)施策 4 予算事業名 都市計画一般事務費 掲載ページ ページ ⑤施策コード 3.3.1.0 (7)総合戦略 (6)実施根拠 ①事務分類(自治·受託) | 自治事務 ①総合戦略 無 ②根拠法令地方再生特別措置法 (該当事業名) ③事業期間 開始 不明 年 月から 終了 未定 年 月まで 2 事業の目的・対象及び内容 (1)目的(何のために行うか) (3)手段(内容・どのような取り組みか) 立地適正化計画を策定、公表し、都市全体の構造を見直し 都市計画法を中心とした従来の都市計画制度に加えて、 医療、福祉、商業などの生活サービス施設や住居がまとまっ 居住機能や医療・福祉・商業・子育て支援等の都市機能の て立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれ らの生活サービス施設にアクセスできるなど、日常生活に必 誘導、公共交通の充実を図ることにより、コンパクトなまち 要なサービスが住まいなどの身近に存在する『コンパクトシ づくりを進めるため。 ティ・プラス・ネットワーク』のまちづくりを推進する。 (4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか) (2)対象(誰に対して、何に対して行うか) 町全体を見渡しながら拠点となる区域に集客力のある 公共施設が配置され、居住を誘導する区域などが集 町民 約・再編される。 都市機能サービスを集約して利便性の向上が図られ 対象数 28.046 単位 る。 (5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

コンパクトシティ・プラス・ネットワークを進めることにより、将来にわたって町民の生活を支えるサービスの提供を継 続する。

(6)SDGsへの貢献

11 EARITONS

3	事業のコスト(実績・予	·算·決算)	(単位:千円)					
	(1)事業(内容)							
	項目							
	決算•予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算		
2	報酬 需用費 役務費 委託料 負担金補助及び交付金	111	133	70	58	140		
\sim	需用費	126	2,266	95	98	116		
事	役務費	16	15	12	615	615		
業	委託料	7,920	0	4,125	569	0		
費	負担金補助及び交付金	3,310	4,125	3,828	2,047	3,713 264		
内	その他	186 11,669	638	111	242	264		
訳	直接事業費合計	11,669	7,177	8,241	3,629	4,848		
3	国庫支出金	3,960	0	0	0	0		
\sim	県支出金	7	7	2,071	8	7		
財	地方債	0	0	0	0	0		
源	その他特定財源	3,742	0	6,170	3,621	4,841		
内	一般財源	3,960	7,170	0	0	0		
訳	合 計	11,669	7,177	8,241	3,629	4,848		
(4		集約都市形成支援事業	都市計画費委託金	都市計画費委託金	都市計画費委託金	都市計画費委託金		
(5)人件費							
	投入職員数	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7		
	年間人件費	5,401	5,347	5,340	5,279	5,388		
(6) 総事業費		17,070	12,524	13,581	8,908	10,236		
	サービス量(件)	29,471	28,886	28,494	28,046	28,046		
	サービス単価	0.6	0.4	0.5	0.3	0.4		
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							

4	指標の検証(活動指標・成果指標)	都市計画一般事務費						
	指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算		
(1	(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)							
		目標値						
坮		実績値				$>\!\!<$		
指標		達成率				$>\!\!<$		
名		目標値						
		実績値				$>\!\!<$		
		達成率				$>\!\!<$		
(2)成果指標(実施した結果として得られた)		達成度	:人数、世帯数、(牛数、団体数、コス	スト指標等)		
	中心拠点の人口密度	目標値	人/ha	37	37	37		
±	【(総振目標指標p53)	実績値	人/ha	31	31	$>\!\!<$		
指標名	R7年度目標値 37人/ha	達成率	%	83.8	83.8	\gg		
	小川川県川口のたり米四合奴	目標値	人	11,400	11,400	11,400		
	※東武鉄道 (総振目標指標p58)	実績値	人	7,424	7,759	$>\!\!\!<$		
	R7年度目標值 11,400人	達成率	%	65.1	68.1	$>\!\!\!<$		
(3)その他指標に現れない成果							

5 事業評価

(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
	事業の必要性	1	 必要性は高い どちらともいえない 必要性が低い 	I ' I	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
必要性					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他()
	実施主体の 妥当性	1	1 妥当である2 どちらともいえない3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である	
妥当性					3 その他()
X J L		1	1 妥当である2 どちらともいえない3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
	手段の妥当性 				2 他に有効な代替手段が見当たらない	
					3 その他()
	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である2 どちらともいえない3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している	
効率性					2 サービス単価を維持している	
					3 その他()
			 偏りはない どちらともいえない 偏りがある 	1	1 公平に分配されている	
公平性	受益者の偏り	1			2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他()
	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
有効性					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他()
	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない		1 年度内に予定した事業は完了した	
進捗度					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他()

(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)

小川町立地適正化計画に基づき、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進していく。 また、令和2年度に策定された本計画は、PCDAサイクルに基づき、評価・見直しを行っていくこととして おり、概ね5年ごとに人口推移、誘導施設の分布状況、誘導施策の実施状況、将来目標指標の達成状 況などを評価する必要があるため、小川町総合振興計画及び小川町都市計画マスタープランと整合を 図り見直しを行っていく予定。

6 事業の方向性の	<mark>の判断</mark> 1	拡充 2 現状維持 3 縮	小•統廃合	
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)	
評価	2			
説明	都市機能サービスを集約する ことにより、利便性の向上が見 込まれ、また、居住誘導にもつ ながることから、事業を継続し ていく。			